

(仮称) 宇都宮市図書館機能・サービス向上計画 (素案) に関する
パブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見募集期間

平成20年3月1日(土)～3月31日(月)

(2) 意見の応募者数と件数

応募者数: 11名 【内訳】 男女内訳: 男5名, 女6名

意見件数: 34件 年代内訳: 20代1名, 30代1名, 50代2名, 60代4名,
70台1名, 80代1名, 未記入1名

(3) 提出方法の内訳

	郵送	FAX	Eメール	持ち込み	合計
人数	0	3	1	7	11

(4) 項目別意見数

No.	項目	意見数
1	計画全体について	5
2	現状と課題について	2
3	基本的な考え方について	2
4	組織体制の明確化について	1
5	施策1「図書館・図書室間のネットワークや関連機関との連携体制の整備」について	1
6	施策2「小中学校図書館との連携機能強化と学校や教職員への支援」について	2
7	施策3「ICTを導入した高度な情報提供の推進」について	2
8	施策4「レファレンスと課題解決型サービスの充実」について	2
9	施策5「さまざまな利用者に対応したサービスの充実」について	5
10	施策6「市民ニーズに応じた効果的・効率的な管理運営」について	10
11	その他	2

2 意見の概要と市の考え方

(1) 計画全体について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	素案にもう少しメルヘンチックな夢があったら受け入れられやすいのではないかと思います。内容はいいですが、やはり固いです。	計画の意図を正確に伝え、全体的に整合性のある文章となるよう、このような表現としました。市民の皆様にご覧いただきありがとうございます。
2	「サービス」＝目的、「機能」＝手段であるという点が未整理のような気がします。	本計画の名称「図書館機能・サービス向上」を掲げるにあたり、「機能」は図書館の果たすべき役割として、「サービス」は図書館の具体的な施策や事業として整理しております。

3	<p>素案を読んで、かなり綿密に計画されていて、図書館がこんなに多くの業務があることと、また新規の事業の計画があることがわかりました。</p>	<p>今回の計画に基づき様々なサービスを充実させるとともに、そうしたサービスを行っていることを市民の皆様を知っていただくことも重要であると考えております。</p>
4	<p>今回の機能・サービス向上計画を拝読し、図書館の基本的業務をおろそかにすることなく、機能の転換向上を図られることを希望します。新刊図書のリクエストへの対応も、最近ではかなり時間を要する感じがしております。</p>	<p>ご意見のとおり、基本的業務を確実に行った上でのサービス向上と考えております。「IV組織体制の明確化」の中で、各図書館の特色に基づいた専門的サービスを展開するにあたっては、「全ての図書館において同等の基本的サービスを充実した上で」としました。</p> <p>リクエストへの対応につきましては、予約が多く貸出中の本を館内に1冊置いて閲覧できるようにしたことや、他の図書館からの借入等、対処法を工夫しております。今後、ご利用に不便が生じないよう、さらなる対策をとってまいります。</p>
5	<p>昭和 56 年に市立図書館がオープンしたときの喜びは、今も忘れられません。県庁所在地に市立図書館がないワーストスリーからの脱却でしたから。今、多くの市民の暮らしに欠かせない存在である図書館が、よりよいものになるよう、願いを込めて意見・要望を述べさせていただきます。</p>	<p>図書館は、市民生活や地域を豊かにするための知識と情報を提供する上で、欠かせない存在であると認識しております。今後も多くの市民に利用されるよりよい図書館となるよう、サービスを充実してまいります。</p>

(2) 現状と課題について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	<p>「サービス向上」が目的であるならば、「市民のニーズの把握・分析」が大切です。『II-2-3 図書館への要望』を見ると、ニーズの現状は旧態依然としています。ニーズの現状把握だけでなく、ニーズの動向（これまでの変化や今後の方向性など）をどう捉えているのか、その点を明確にしないと、新たなサービス計画は生まれませんし、宇都宮市の『新しい図書館像』が見えてこないのではないのでしょうか。また逆に、ニーズが旧態依然（アナログ的）であることも重要なポイントです。「機能」としての図書館だけではなく、「憩う、おもしろい、育む、交流する…」など「場」としての図書館像も、より明確に打ち出してほしいと考えます。</p>	<p>市民のニーズの現状に関しましては、「II-2-3 図書館の要望」にあるとおり、「資料の充実」が、図書館に対する最も多い要望であり、最も基本的で重要であると考えております。</p> <p>図書館の新たな方向性に関しましては、「II-1-1 社会環境の変化」や「II-1-2 国の動向」を踏まえ、貸出利用者に対する資料充実だけでなく、新たなサービスに取り組んでまいります。特に、ICTの導入（施策3）、子どもや高齢者など様々な利用者を対象とした事業（施策5）は、今後重要になると考えております。また、来館する利用者のために、ユニバーサルデザインに配慮した滞在型図書館の実現（事業26）などを目指してまいります。</p>

2	13ページの表を見ると、宇都宮市は中核都市の中で上位に位置する項目が非常に多いことに感心させられました。これらの事実をもっと広く市民に伝えられてよいことだと思います。	図書館は、サービスの内容やその成果をもっとPRし、多くの方々に存在意義を理解してもらう必要があると考えております。今後そうした面にも力を注いでまいります。
---	---	---

(3) 基本的な考え方について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	一部に図書館は図書がIT化して、その存在をあやぶむ意見もありますが、実際はそうでないと思います。そういう時代だからこそ、人々は本や社会との出会いを求めてくる拠点となるはずです。今後のそういう観点からの存在意義を、計画に強調されてはいかがだったでしょうか。	ご指摘のとおり、市立図書館は、市民にとって最も身近な、あらゆる市民を支援する施設であると考えております。「Ⅲ基本的な考え方」の中で、計画の基本理念として掲げましたように、図書館は、市民生活や地域の課題解決に役立つ情報拠点として、多くの市民の皆様に利用していただくことを目指してまいります。
2	宇都宮市図書館機能・サービス向上計画書を読ませていただき、細部にわたる気遣いに十分な気がしました。これ以上に図書館の機能を高めるためには、利用者側の意識向上も求められるものだと考えます。そのためには、色々な分野の方々の講演会も、かなり有意義なものであると思います。	市民の皆様の読書活動を支援し、地域の課題解決に貢献するため、様々な分野で活躍されている方による講演会の開催等にも取り組んでまいります。

(4) 組織体制の明確化について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	特に『IV組織体制の明確化』は、特出されるべき項目ではなく、利用者の視点に立てば、具体的施策の「ネットワークや連携体制の整備」の一部に過ぎないように思われます。	図書館の組織体制については、市町合併や（仮称）第3図書館開館により5館体制となることから、全館が統一のとれたサービスを行うとともに、各図書館の特色や役割を生かした運営をするために、新たな組織の構築が必要であるとの考えから、特出した項目としました。

(5) 施策1「図書館・図書室間のネットワークや関連機関との連携体制の整備」について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	市内の図書館のネットワーク化も重要ですが、サービス向上のためには、他の専門機関（特に市外の図書館）との連携が欠かせません。国や県の動向、連携先のこともあるので難しいでしょうが、現時点でできる、より積極的で具体的なイメージを提供してほしいと感じました。	県内公共図書館や大学図書館とは、従来から栃木県立図書館を中心に連携をし、県外図書館についても、インターネットの普及により連携を深めております。 今後は、計画により、図書館以外の専門機関（美術館、博物館、県や国の機関等）との連携を図ってまいります（事業3）。

(6) 施策2「小中学校図書館との連携機能強化と学校や教職員への支援」について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	学校図書館へのサービスの向上にとっても期待しています。Webで本の予約ができるのは手軽で良いです。学校希望図書を利用しての感想ですが、学校行事が入る都合上、予定どおりに調べ学習が進まず、1か月間で授業が終わらないことがあるので、もう少し貸出期間が長いと助かります。	ご意見のとおり、図書館と学校との連携につきましては、計画でも重点施策と考えております。児童生徒の読書活動や教育活動に役立つ図書館資料を提供できるよう、事業を実施してまいります（事業4、5、6、7、8）。
2	特に平成18年度から実施されている学校支援事業は、その充実ぶりに目をみはるものがあると感じました。	学校支援事業につきましては、重点施策と位置づけ、さらなる充実を図ってまいります。

(7) 施策3「ICTを導入した高度な情報提供の推進」について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	電子情報により、図書資料の内容（目次程度でも）がわかるよう、データベースの作成をしてほしいというのが個人的な要望です。	ご提案のとおり、ICTを活用した電子情報の提供につきましては、重点施策の一つとしました。 平成20年7月稼動予定の図書館電算新システムでは、より詳しい本の内容を盛り込んだデータベースを導入する計画です。 CDや地域資料につきましては、すでに曲目データやキーワードから検索することができます。 さらに、レファレンスサービス強化のために、各館の特色に応じたデータベースの作成を図ってまいります（事業11）。

2	<p>インターネットの利用サービスも受けてみましたが、資料の閲覧のみで、印刷することができないという不便な設定になっております。せっかくの有効資料を持ち帰ることができませんので、他所で再印刷という手間がかかりました。</p>	<p>インターネット上の情報につきましては、著作権法が適用され、図書館での印刷には著作権者の許可が必要であるため、閲覧のみのサービスを行っております。図書館は、著作権法の範囲内で情報提供を行っている施設ですので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>重点事業として掲げた「ICTを導入した高度な情報提供の推進」を図るにあたり、インターネットの利用方法について、市民の皆様にわかりやすくPRしてまいります(事業10)。</p>
---	--	--

(8) 施策4 「レファレンスと課題解決型サービスの充実」について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	<p>間口が広く(レファレンスサービスの充実)、奥行きのある(他機関とのネットワーク化、レフェラルサービスの充実)活動を期待します。</p>	<p>ご意見のとおり、レファレンスサービスは、図書館にとって最も重要な窓口サービスであると考え、本計画の重点施策としました。ご期待に沿えるよう、今後も努力してまいります。</p>
2	<p>教育・医療・環境などの国民的な課題については多様な考えや立場があるが、一般のマスコミに紹介されるのは「標準的」なものが多く、少数派の意見は出版物として出されても多くの人の目に触れる機会は少ない。図書館では、そういう見落とされがちな本も収集して、問題解決に迫られた人がそれらの本に出会うチャンスを広げておいてほしい。重点的な分野についてはしっかりと蔵書を誇れるような図書館になってくれたら素晴らしいと思っている。</p> <p>どこの本屋でも手に入るような本は図書館でたくさん購入する必要はないのではないかと。リクエストが多いとしてもそれにどこまで応えるべきかは慎重であってほしい。そういう本は自分で買うという人が増えていくことの方が、出版界や日本社会の未来のためにもよいのではないかと。</p>	<p>ご意見のとおり、市民の意識を調査した結果、図書館に対する要望で最も多かったものは、「資料の充実」です。</p> <p>図書館では「図書館の自由に関する宣言」を尊重し、多様な考え方のある課題につきましては、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集するよう努めております。</p> <p>また、「IV組織体制の明確化」の「2各図書館の特色あるサービス」の中で、資料の選定については「各図書館間で、特色に合わせた収集・保存分担を検討・実施」することとしております。各図書館の特色に基づいた重点分野については、専門的な資料なども収集し、蔵書の構築を図ってまいります。</p> <p>図書館としての蔵書構築と利用者サービス、双方の観点から、図書を選定を行うよう、今後も努力してまいります。</p>

(9) 施策5 「さまざまな利用者に対応したサービスの充実」について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	<p>今後の高齢化社会に向かっての高齢者に対するサービス等を充実していただきたい。</p> <p>来やすい（入りやすい）図書館 わかりやすい本の配置 読みやすい本（活字の大きさ等） ゆったりと読書のできるスペース 等</p>	<p>高齢社会に対応するため、大活字本やCDブックの充実、高齢者の生活に役立つ資料の充実、講座の開催等を行ってまいります。また、ご意見のとおり、高齢者にわかりやすい本の配置とするため、高齢者に配慮した環境の整備について、事業の内容に加えました（事業17）。</p> <p>また、施設面では、館内外のバリアフリーを進めるほか、（仮称）第3図書館においては、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、誰にでも使いやすい図書館を目指してまいります（事業26）。</p>
2	<p>あるとき、宇都宮の図書館関連の情報をインターネットで何気なく見つけ、私のような市外在住者でも宇都宮市の図書館で本が借りられることを知りました。もっと、この情報を早くに知りたかったと思います。</p>	<p>宇都宮市に通勤通学されている方、広域利用の協定を結んでいる6市6町にお住まいの方につきましては、宇都宮市の図書館をご利用いただけます。今後ともPRに努めてまいります。</p>
3	<p>視聴覚部のサービス・応対等に関しては、最高の域に達していると思います。知人の話ですが、見たいビデオを数回にわたって探していただき、連絡を下さったことを感激していました。そのような利用者の声も伝えたいと思います。</p>	<p>視聴覚資料につきましては、それぞれの図書館に特色を持たせ、幅広い収集を行ってまいります（事業20）。</p> <p>今後も、必要な資料を提供するために、職員の資質の向上に努めてまいります。</p>
4	<p>全世代横断のえほん運動を展開しよう。</p> <p>第3図書館は子どもにウェイトをおく方針とされていますが、その一環に、「えほんうんどう」をおきたいものです。評論家の柳田邦男さんが、大人ももっと沢山の人が絵本を読んでほしいと言っています。よい絵本は、子どもには無論大人にも面白いのです。現代は世代間の対話がかけられます。子どもと青年、子どもと高齢者などが一緒になって絵本を読むことで相互理解が進み、時代に寄与できるものがあると思います。</p>	<p>絵本は、子どもだけでなく大人にとってもおもしろく、有意義なものです。図書館では、子どもと絵本をつなぐ立場にある大人を対象とした、絵本の講座や講演会を開催し、家庭や、地域でのボランティア活動に役立てていただいております。また「（仮称）第3図書館整備基本計画」では、近隣の中高生や地域の高齢者などとの異年齢・世代間交流が図れるようなサービス提供やプログラム展開を予定しております。</p>

5	<p>私は図書館でボランティアとして視聴覚ソフト（ビデオ・カセット）等のキズを見て、破損の位置やその程度などをチェックする仕事をしています。貸出ソフトができるだけ良い状態で利用できるようお願いしておりますが、そのために一番心配するのが、使用するオーディオ機器の事です。かなり酷いキズのあるソフトを使用すると機器が故障することが多いのです。機器の代替があったら作業も能率的になりますので、良いと思います。</p>	<p>図書館ボランティアとしてご活動いただきありがとうございます。点検のための機材につきましても、保守を十分に行えるよう努めてまいります。</p>
---	---	---

(10) 施策6「市民ニーズに応じた効果的・効率的な管理運営」について

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	<p>新しい図書館は市民参加型にしたいものです。運営にも市民の力を活用したいものだと思います。</p>	<p>平成18年度策定の「(仮称)第3図書館整備基本計画」の第5章にもありますように、利用者と共に創る施設として、市民の方に図書館サービスや事業の運営をサポートしていただく体制を充実させるよう、検討してまいります。</p>
2	<p>第3図書館の館長は公募にしてはどうでしょうか。異業種のノウハウが図書館運営に活用できる点もあろうかと思えます。元銀行員、店主、スーパーやコンビニ店長、運送業経験者、書店主などなど。その際、館の構成員も何人かは民間採用してはどうでしょう。</p>	<p>民間のノウハウには図書館運営に活用できる分野もあるかと思われますが、館長職につきましても、図書館や行政での経験が必要と考えております。また、職員につきましても、専門性が必要と考えております。なお、文部科学省の『公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準』には「館長は、図書館の管理運営に必要な知識・経験を有し」「司書となる資格を有する者が望ましい」とされております。</p>
3	<p>上河内図書館を利用するにあたり、職員の皆様（アルバイトの方々を含め）には、大変良くしていただいております。唯一、館内で飲食禁止なことが残念です。せめて、飲み物だけでもOKなコーナーを作っただけだと、助かります。</p>	<p>上河内図書館では、建物上の制約もあり、飲食可能なコーナーを新たに設けることができませんので、ご理解をお願いいたします。</p>

4	<p>図書館が狭い。これは既存の館に要望してもムリなので、3館目に考えていただきたい。書架と書架の間が狭く、下段の本を屈んで選んでいると後ろの人とぶつかる。配架する職員も大変そうです。昨今の図書館は高齢者でいっぱいです。くつろぐ場所として、新聞・雑誌を読むコーナーを、もっと広くゆったりとした空間にしてほしい。</p>	<p>(仮称)第3図書館は、車椅子がすれちがえる書架間隔を確保し、読書をゆっくり楽しめるブラウジングコーナーを設け、くつろげる図書館になるよう準備を進めております。</p>
5	<p>専門職員の増員をしてください。新規採用がないのでしょうか。若い職員が少ないのでは？ベテランが下の世代を育てていくには時間がかかるはずですが。図書資料が豊富でも利用者を繋ぐカギは“ヒト”です。</p>	<p>ご意見のとおり、必要な情報を正確かつ迅速に提供するためには、司書の養成と専門能力の向上が不可欠であると考えております。将来を見据えた職員体制を検討し、併せて専門職員のスキルアップのための研修を実施してまいります(事業22)。</p>
6	<p>これからのサービス充実に伴い、各専門職員の充実を図られ、満足のできる業務を受けられることを期待しております。</p>	
7	<p>ヒザと腰を痛めた折、正面玄関の階段と、重いガラスのドアに泣かされました。脇に回ればスロープと自動ドアがあるにはある。でも、ちょっとした回り道さえつらいもときもあります。</p>	<p>既存図書館につきましては、館内外のバリアフリー化を進めてまいります(事業26)。なお、(仮称)第3図書館につきましては、ユニバーサルデザインを取り入れたゆとりある読書空間の提供を検討しています。</p>
8	<p>もっと明かりを。最近照明が暗いような気がします。</p>	<p>読書をする場所などは、適した明るさにしておりますが、ロビーなどは地球温暖化対策のため節電に努めております。ご理解をお願いいたします。</p>
9	<p>オープン書架の移動にもとまどう時がありますので、案内文書も数ヶ月は掲示しておいていただくと助かります。</p>	<p>サービス改善のため、書架配置を変えることがあります。わかりやすい案内や、掲示期間に配慮してまいります。</p>
10	<p>時代とともに増す図書館の存在意義は、そこへ直接行くというところが一番重要ですから、素案にない、図書館へのアクセス・駐車場・自転車・徒歩等の充実も合わせてお願いします。</p>	<p>(仮称)第3図書館は、アクセスにも十分配慮し、駅の近くに建設を予定しております。また、駐車場や駐輪場の充実も図ってまいります。</p>

(11) その他

No.	意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	<p>(仮称) 第3図書館の図書を選定・購入決定に市民を参加させる。付け加えれば、現在は少し透明性に欠けるところがあるように思います。公募した市民を加えれば、図書館に注ぐ眼差しも熱くなるでしょう。</p>	<p>図書の選定につきましては、『宇都宮市図書館資料収集方針』に基づき、全体の蔵書構成を考慮しながら実施しております。方針は図書館協議会のご意見をいただき決定しており、(仮称) 第3図書館の図書の選定につきましても、この方針に基づき実施してまいります。</p> <p>資料収集方針につきましても、情報公開をすすめてまいります。</p>
2	<p>(仮称) 第3図書館の図書購入時には市民に図書購入費を一部負担してもらおう。</p> <p>図書館の数が増え、予算が削減されると聞く今日、図書館運営も厳しい点があるろうと思います。時によっては市民に募金を呼びかけませんか。どうしても購入したい資料があるが、予算がない、足りないという時、広く募金を市民に呼びかける。沢山の市民の目を引き寄せることで、きっと成果があるはずです。</p>	<p>図書館の資料購入費は減少傾向にありますが、限られた予算内で効果的に資料を提供できるよう、今後とも購入図書の選定を厳正に行ってまいります。</p> <p>頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>